

平成30年度第1回青森市指定管理者選定評価委員会会議概要

- 1 対象施設 青森市浅虫海づり公園
- 2 開催日時 平成30年5月11日(金) 13:30~14:00
- 3 開催場所 青森市役所庁議室
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 横内 修(企画部理事次長事務取扱)
副委員長 山谷 直大(総務部理事次長事務取扱)
外部委員 森 宏之(青森大学 教授)
外部委員 西村 晴夫(東北税理士会青森支部 税理士)
委員 加福 理美子(市民部次長兼行政情報センター所長)
" 柿崎 哲男(環境部次長)
" 長谷川 敬(浪岡事務所次長総務課長事務取扱)
 - (2) 施設所管課 水産振興センター 所長 門間 隆
主査 泉 慎也
主査 中川 広樹
 - (3) 制度所管課 企画調整課 課長 館山 公
主幹 高野 新
主査 小笠原 誉史
- 5 案 件 「指定管理者制度導入の適否」に係る審査
- 6 会議概要

配布資料に基づき、水産振興センターより、施設概要及び指定管理者制度導入施設の概要調書について説明し、次回の募集について、指定期間を5年間、完全利用料金制を導入、募集形態を公募とすることを説明。

(1) 審査結果

募集内容等については、全委員異議なく全会一致で以下のとおり了承された。

- ①指定管理者制度の導入適否：適
- ②指定期間：5年
- ③利用料金制：完全利用料金制
- ④募集形態：公募
- ⑤グルーピングの適否：否

(2) 主な質疑内容

委員：イケスについて、今はやっているか。

施設所管課：魚の調達がなかなかできず、今は休止中である。調達でき次第、開始したい。

委員：これまで、魚をどのように調達してきたのか。

施設所管課：漁業者に頼んで、活魚を仕入れていた。陸奥湾の漁業が、ホタテガイ養殖中心で魚の漁獲量が少ないことや、一番の大口仕入先であった脇野沢の養殖業者がクロソイ養殖事業を縮小し調達できなくなったこともあり、現在、活魚の仕入れが困難な状況となっている。

委員：完全利用料金制の中で、イケスの魚が収入に貢献しているのでは。

施設所管課：収入については、通常の入場券等の販売が主力となっている。

委員：浅虫温泉への宿泊客等に対して浅虫海づり公園の案内や誘導・PR等はどうに行っているのか。

施設所管課：旅館やホテル等にパンフレットやチケットを置くなどしている。

委員：開園時間を早くする等の工夫も必要では。

施設所管課：閉園時間を延長する等して、ナイトフィッシングといったイベントを行っている。